



シルバーとなみ

第 34 号

平成 27 年 5 月 10 日発行

# ふれあい

発行 / 公益社団法人 砺波市シルバー人材センター

砺波市高道 217 の 2 TEL/0763-33-4341 FAX/0763-33-5854 HP/<http://www2.tst.ne.jp/t-silver/index.html>



撮影 / 藤井秀文 (油田地区)

市内全地区で交流会を開催

砺波市シルバー人材センター互助会では、会員の生の声を直接聞くため、二月十六日から二週間にわたり、全二十二地区で地区別会員交流会を開催しました。各地とも活発に意見が交わされました。

今年はず場の悪い日中にはありませんが、比較的天候に恵まれ、多くの方が参加し、有意義な交流会となりました。

最初に、事務局から、事業実績・事故発生状況(シルバー保険関係)を報告し、事故総数が年度当初の目標であった前年比二割削減の目標を達成することができたが、引き続き事故ゼロをめざし、安全就業を推進していくことを呼びかけました。

また、会員数の拡大のため『会員紹介カード』を配布し、会員の皆さんの家族・友人をご紹介いただき、センターから積極的に入会を呼びかける取組について説明しました。

交流会で聞かせていただいた貴重なご意見・ご要望を参考にし、より良い事業運営をめざし会員の皆さんとともに取り組んでいきたいと考えています。



皆さんからの主な意見・要望

Q シルバー便利屋さんの活動状況は。

A 現在、シルバー便利屋さんには四十三名の方が登録されており、新年度交流会を開催するなど和気あいあい楽しく活動しております。仕事の依頼は八件あり、主に花の水やり、物の移動、食事の運搬などがありました。また、ボランティアの精神で、打合せのみしていたケースもありました。

Q 『会員紹介カード』とはどんなものか。

A 会員の皆さんから、友人や近所の方など、まだまだ働ける元気な方を紹介いただくものです。紹介いただいた方々は、役員の方から勧誘活動をさせていただきます。紹介された方が会員として働かれた際には、紹介した方に少しばかりですがお礼をさせていただきます。

Q 会員互助会の研修旅行について。

A 参加するために必要な制限などはなく、となたでも自由に参加していただけます。互助会の役員会で協議された結果、平成二十六年度は三月四日、五日の開催となりましたが、参加者が年々減少しています。平成二十六年度は『会員のつどい』も参加者が減少しているこのことで開催を見合わせました。

会員の皆さんから、「こんな所へ行きたい」「こんな行事をやってみてはどうか」など、ご意見を聞かせていただき、楽しい互助会活動にしていきたいと考えています。

働く仲間大募集!

Q 会員の不足とあるが、会員の中から「もっとたくさん働きたい」と聞く。新規の会員を募らなくても、うまく仕事を回せば不足しないのではないかと。

A シルバー人材センター会員の就業は月十時週二十時間がふさわしいとされており、それ以上働くと、雇用されている労働者との区分ができなく、センターだけでなく発注者側にも様々なペナルティーが発生します。

適正に就業するため、センターでも、会員の皆さんにローテーションで就業をお願いしております。そうなることややはり会員が不足し、思うように依頼を受けた仕事が必要な状況にあります。会員の増加にぜひご協力ください。

現在、会員の高齢化、仕事の内容により会員が不足しており、お仕事をいただいてもお断りをするケースがあります。近所・お友達でシルバー会員になり仕事をしてみたい方を募集します。紹介した方には少しばかりのお礼をお渡ししたいと思えます。ぜひ新入会員説明会の出席を進めていただきたいと思います。

新入会員説明会は原則、毎月第二三木曜日の十時から開催しています。詳しくはセンター事務局までお問い合わせください。

は、『砺波市在住で六十歳以上、健康で働く意欲のある方』です。

新入会員説明会は原則、毎月第二三木曜日の十時から開催しています。詳しくはセンター事務局までお問い合わせください。



多くの方からたくさんのご意見をいただきました。



各地区ごと、様々なスタイルで交流会が開催されています。

### 市民の方を対象とした講習会を開催

一月二十九日(木)、砺波市内在住の六十歳以上の方を対象とした『竹垣根作り講習会』が砺波市シルバーワークプラザで開催され、男女合わせて十四名が竹垣根作りに取組みました。

市民の方を対象とした講習会は初めての試みであり、シルバー人材センターを知ってもらう目的で開催しました。

講師は、日頃から剪定・雪吊などの樹木管理で活躍されている、会員の土倉信之さんと老松義勝さんに務めていただき、様々な種類がある『竹垣』のなかでも、センターにも依頼が多い『四ツ目垣』作りを学びました。

講習会ではまず、老松さんから『作り方』について必要な道具・材料・制作方法など資料をもとに説明を聞き、実際に参加者一人一人が制作を行いました。

実技では、竹の切り方、並べ方・縄の結び方など教わり、二時間半という短い時間でしたが立派な四ツ目垣を作りました。



バランスを見ながら丁寧に仕上げていきます。



シワができないようにきちんと糊を付け紙を張っていきます。



お掃除のプロから直々に技を伝授していただきました。

また、二月五日(木)には、『障子張替え講習会』を開催し、男女合わせて十五名が障子の張替えを学びました。

講師は、日頃から障子戸・襖の張替え業務で活躍されている、会員の花木輝雄さんと安田千香子さん、前美津子さんに務めていただき、実際に教材の障子戸をきれいに洗うところから始め、張替えの技術を実践も織り交ぜて教えていただきました。

受講生の皆さんは、棧の汚れをしっかりと落とすことや、障子紙の切り方のコツなど美しく仕上げる方法をしっかりと学びました。

いずれの講習会も、募集開始からすぐに定員に達し、大変好評でありました。センターでは今後も市民の方々にシルバー人材センターの取組を知っていただくよう、様々な機会を通じPRに努めてまいります。

### ハウスクリーニング講習会開催

三月六日(金)に『ハウスクリーニング研修会』が砺波市シルバーワークプラザで開催し、企業・家庭からの清掃の依頼、また高齢者支援事業などで活躍している会員二十四名が参加しました。

研修会は、新星株式会社の土岐主幹・立浪さん・棚田さんにご指導いただき、ガラス清掃の基礎知識について講義と実演いただき、その後実習を行いました。

実習では、トイレやユニットバスの清掃を、指導を受けながら行いました。

受講した皆さんからの質疑応答の一部を紹介します。

**Q** 窓ふきの際、専用の道具がない場合、どどのようにすればよいのか。

**A** 洗剤を使用すると白く残るので、基本的には水拭きで行うこと。洗剤を使用するのであれば中性洗剤を使用すると良いです。

**Q** 洋式トイレの水溜りの周りに、水垢のようなものがあるが、綺麗にする方法を教えてください。

**A** 茶色くなっているものの本体は、水道水に含まれる鉄分です。茶色くなっている場合は、表面でなく浸み込んでいるのでハイドロハイターでとると良いです。

### 「シルバー空き家サポーター」を開始

近年、適切に管理されていない空き家が増加傾向にあり、「草木が繁茂し、見苦しい」など環境の悪化を危惧する声が地域から上がっています。ごみの不法投棄、不審火による火災など、今後身近なところで発生する可能性があります。

このようなことから、当センターではお客様からの空き家・遊休空き地を適切に管理してほしいというニーズに 대응するため、お客様に代わって訪問し点検を行う『シルバー空き家サポーター』を開始しました。

会員の皆様の近所、またはお知り合いで空き家・空き地の管理でお困りの方がいらっしゃいましたらぜひご案内ください。

また、『シルバー便利屋さん』も活動しておりますので、買物代行・病院の付き添い・花の水やりなど、暮らしの中のちょっとした困りごとなどサポーターいたします。



詳しくは事務局にお問い合わせいただくか、当センターのホームページでも紹介しております。

▶▶▶ <http://www2.tst.ne.jp/t-silver/index.html>

シルバー安全ニュース

今年度も安全・適正就業推進委員会では、『事故全体の対前年比十%削減』を目指し取組んでまいります。

平成二十六年度では、傷害事故一件、賠償事故四件と前年度に比べ事故の総数が十九件から五件と大幅に減少しました。

傷害事故は減少したものの、その内容は四脚脚立からの『転落事故』で大けがをするという事故が発生しました。

当センターでも、傷害事故の多い剪定・除草作業班において、就業前に実施する『作業前安全点検表』を配布し、班長を中心にミーティングを徹底することにしましたが、屋内の掃除など一人で作業するような場合も是非、実施していきたいと考えております。

賠償事故の傾向は、刈払機による『飛び石』事故が大半を占めており、センターとしても年二回講習会を開催し、除草作業に携わる会員の方全員に必ず受講していただき、安全に対する意識を高めております。

今後も、安全・適正就業推進委員会では、毎月一回安全パトロールを実施し、会員の皆さんとともに安全就業を呼びかけてまいります。

各種安全・技能向上講習会を開催

一月十六日(金)、砺波自動車学校(砺波市鷹栖出)の協力を得て、「シルバー交通安全体験講習会」を開催しました。

午前九時三十分から開講式が行われ、指導員の方から

- ・高齢ドライバーの注意点
- ・県内交通死亡事故の特徴

について説明していただきました。

県内の交通事故の多くは夜間・横断中の事故が多く、ドライバーの場合はライトを上向きにして運転すること、歩行者の場合は反射材を身に着けることが重要であるとお話がありました。

講義終了後の実技では、班ごとに分かれ指導員の方と車に同乗し実際に教習所のコースを回り、運転後には個別のアドバイスを受けました。



長年の運転のクセを改める良い機会となりました。

また、会員の技術向上・安全就業を目的として、二月十三日(金)にチェーンソー講習会、三月十三日(金)には、草刈講習会を、ともにシルバーワークプラザで開催しました。

講師は両日とも、富山県西部森林組合の森田砺波支所長にご教授いただきました。

午前中は、正しい使用方法・作業の安全ポイント・災害事例・機具の知識と取扱いについて学びました。午後の部では各自の機械を使用し実技を行いました。



雪がちらつく中、熱心に指導して頂きました。

職員異動のお知らせ

●退職●

事務局長 竹正 哲郎  
就業機会開拓推進員 上野 厚正  
(三月三十一日付)

●新任●

事務局長 鍋田 忠夫  
雇用サポート推進員 川辺 洋  
(四月一日付)

新しい事務局長を

どうぞよろしくお願い致します。  
事務局一同

あしがき

待ちに待った春が訪れ、今年の桜はいつもの年よりも見頃が長く、十分に楽しむことができました。

北陸新幹線も開業し、経済状況も少しずつ明るい方向に向かっていっているように思えます。事務局も鍋田事務局長を迎え新しい風が吹き、慌ただしく新年度が始まりました。

国民の四人に一人が高齢者という時代になるとは私達の若い頃には考えてもみなかった状況です。この歳しい中で会員の皆さん事務局そして役員はこのシルバー人材センターが高齢者にとって発注者にとって「なくてはならない存在」になる様に知恵をだし合い事業を進めてまいります。

砺波はこれから花の季節、観光客も大勢訪れるでしょう。屋外での作業は天候に左右されることも多いと思います。

頑張っても無理をしないように健康と安全に注意し、お互いに助け合いながら仕事にあたりましょう。

(広報委員 横川紗代)